

バローHD、横浜の店舗内に

即戦力トリマー 養成機関設立へ

トリミングスクールの研修ルーム
＝横浜市青葉区あざみ野、ペット
フォレストあざみ野店の2階



都市部で高い需要、修了者を雇用

バローホールディングス(HD)のグループ会社で、ペットショップ「ペットフォレスト(PF)」を展開するホームセンターバロー(多治見市大針町、和賀登盛作社長)は、ペットの美容を担うトリマーの育成に乗り出す。独自のトリマー養成機関「PFトリミングスクール」をPFあざみ野店(横浜市青葉区あざみ野)に設け、8月から開始する。(河合修)

都市部のペットショップではトリミングの需要が高まっていることから、カット技術だけでなく、店頭での実技研修を通じて接客力など現場で役立つスキルを身に付けてもらい、即戦力のトリマーを育てる。

あざみ野店の2階には、最大15人の受講者に対応できる研修ルームを設置。6カ月コースの基礎課程、9カ月コースの応用課程のほか、自宅で愛犬を手入れしたい人向けにチケット制のコースも設けた。料金は、基礎課程が53万円、応用課程が71万円。

両課程とも、モデル犬1匹を1人で仕上げる実践的な研修で、応用課程は店頭で現役トリマーを補助する現場実習もある。トリマーの国家資格はないが、受講修了者にはライセンス(卒業認定証)を発行する。

バローHDは、PFと子会社のアレanza HDの運営店舗を含め、グループ全体で100店舗以上のペットショップを展開する。バローHDの広報担当者は「店舗ではトリミングの予約の取りにくい状態が続いている。スクールの卒業者を店舗で雇い、トリマー不足の解消につなげたい」と話している。